

令和2年度 農業科のまとめ（活動の記録）

喜多方市立慶徳小学校

1 各学年の活動状況

- 3、4年・枝豆の栽培：5月16日（種まき）、8月26日（収穫）

- ・じゃがいもの栽培：4月25日（親玉植え）、10月1日（収穫）

豆をまいて芽が出た時「なぜ食べ物から芽が出たの」という声が聞こえてきた。児童にとっては、なんとも不思議な現象だったのだろう。生育は順調に進み収穫では、からの表面に生えた毛を触っては、「これは何のために生えているの」と質問してきた。自分の身を守るためにと知るとすごいなと感激していた。



- 5年生・稲作：5月29日（田植え）、9月11日（稲穂の成長観察）

9月17日（草刈り）、10月6日（稲刈り）

- ・ニンジンの栽培：8月30日（種まき）、11月12日（収穫）

稲作の栽培は、驚きの連続となった。今年度はコロナ感染防止のため、種まきはやらず、田植えからのスタート。初めての体験だったため、まず、田んぼに入って動き出すまでに一苦労、「足がヌルヌルして気持ち悪い」「歩くと泥にはまって動けない」など、大きな声が上がった。この後、農業科支援員の方から苗の植え方の指導を受けて田植えを終えた。



自分たちの植えた苗が曲がっているのを見て、田植えの難しさを学んだ。2度の草刈りを経て、いよいよ稲刈り、長靴を履いて軍手をして、鎌を持って準備万端、穂の数を多く持ち過ぎて刈れない児童もいたが、みんな胸に抱えて満足そうだった。

ニンジンの栽培では、種の大きさに驚き、その後の成長にも驚き、驚きの連続だった。特に畑からニンジンを抜く作業では、大きなニンジンが抜けるたびに、歓声に包まれて感動的だった。

- 6年生・稲作：5月29日（田植え）、9月11日（稲穂の成長観察）

9月17日（草刈り）、10月6日（稲刈り）

- ・玉ねぎの栽培：7月3日（収穫）、11月5日（種まき）

稲作の学習は2年目となる。田植えも上手に行うことができた。また、2度の草刈りでも大きなヒエを何本も手で持って、刈り取る児童がいて、頼もしかった。稲刈りでは、鎌で穂を刈り終えた後、コンバインに乗せてもらい稲刈り体験ができた。児童にとっては、新旧の刈り方を体験でき大変貴重な時間となった。



玉ねぎの栽培では、農業科支援員の方から、慶徳玉ねぎの説明を聞き、地元に根付いた伝統野菜のすばらしさを感じることができた。普通の玉ねぎよりも甘くみずみずしい味に畑で食べた児童も、満足そうであった。

